

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕 事 の 内 容	街路灯管理事業					
担当部署・課長名	土木	課	管理	係	課長名	寺島 由紀夫

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	4 - 4	-
【施策名】 道路・交通の整備		総合計画書 (ページ)	89	ページ

予算名	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 1 道路維持費	事業 2 街路灯管理費
-----	---------	-------------	-----------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 ・市道等の沿線住民及び通行者 ・街路灯の新設維持管理	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ・市道等の通行利用者全体 ・街路灯 6075灯
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ・夜間に市道等を利用する通行者の安全を確保する。	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ・適切な稼働環境にある街路灯数
	③ そのために何をしましたか。 ・街路灯の修繕、新設 ・公共性があると認めた道路又は通路の照明を目的とした屋外灯で、自治会等が維持管理をする街路灯の電気料金を補助する	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①ランプ、灯具の交換等 3箇所 ②街路灯新設 60箇所(市新設42箇所 開発事業18箇所) ③劣化した独立柱の建て替え及び塗り替え 9箇所 ④街路灯電気料金補助金の交付 22団体

2 指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	灯	5,986	6,015	6,075	/	/
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	/	/
	目 標	②の目標値	%	/	/	100	/	/
	目標値設定の考え方							
活動指標	③の数値	箇所 箇所 箇所	① 0 ② 11 ③ 5 ④ 22	① 0 ② 29 ③ 4 ④ 22	① 3 ② 60 ③ 9 ④ 22	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	46,403,058	53,405,958	56,027,773	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源		円	46,403,058	53,405,958		56,027,773
		特定財源		円	0	0		0
		(うち受益者負担)		円	0	0		0
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3		0.3
		所要人数(再任用)		人				
		職員人件費(再任用以外)		円	2,480,100	2,475,900		2,473,200
職員人件費(再任用)		円						
事業費+人件費		円	48,883,158	55,881,858	58,500,973			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	
	開始時期: 街路灯を設置した当初から 開始目的: 夜間に市民等が、安全で安心して通行できる住環境の確保	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 環境の変化: 近年は宅地開発事業の増加に伴い、街路灯設置数も増えている。また、防犯強化の観点から新設及び照度アップの要望が多く寄せられている。	

仕 事 の 内 容	街路灯管理事業			
担当部署・課長名	土木	課	管理	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	例年、照度が不足している市道での犯罪を未然に防ぐための役割として、街路灯に対する様々な要望（新設・照度アップ等）が増加している。また、近年は私道への街路灯新設要望もある。一方で、街路灯の新設の際、照明の影響を受ける沿線の住民からは、設置に反対する意見もある。 また、LED化により蛍光灯との光り方の違いによる照度アップ・遮光・角度変更の要望がある。			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	独立柱の現地調査を実施し、劣化しているものについて、予算の範囲内で支柱の塗装をした。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	LED化後ランプの交換頻度は減少したが、劣化しているアームや独立柱の修繕及びメンテナンスは発生する。費用を抑えて十分な効果を得られるよう、状況を適切に判断し、対応することが必要である。			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<ul style="list-style-type: none"> 劣化したアームや独立柱は建て替えが必要か、塗装で対応可能か、灯具を近くの電柱に移設共架できる場所なのか等、現場の状況に合った適切な判断をする。 街路灯の設置間隔について現地調査を行い、特に暗い箇所や危険な箇所を把握し、適切な照度の配置となるよう調査する。 			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	街路灯は、市道等における通行者の安全を確保し、防犯強化に努めている中で、市民からの要望が多数ある事業である。 市内全体のバランスを考慮し、その地域の実状に合った街路灯の整備を進める必要がある。また、宅地開発事業等による新規設置分があり、毎年設置箇所が増加している。このようなことから、予算の範囲内において適切に新規設置や現状の管理を行っていくことが必要である。			
成 果	(3)改革・改善案による期待成果			
	上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。